

# 農福連携マッチング等支援事業 成果報告資料（秦野地域）

報告団体：社会福祉法人 秦野市社会福祉協議会

# 1 秦野地域の特色

## 農業面の特色

- ・ 少量多品目
- ・ 都市型農業
- ・ 援農ボランティア



名産は落花生！

## 障がい福祉面の特色

- ・ 相談支援体制の充実
- ・ 相談機能のネットワーク化
- ・ 地域生活に向けての施設機能の活用
- ・ 就労に向けての「ともしびショップま木」等の活用

## 2 従来、農福連携を進めるうえで課題であったこと

(1) 農家から希望があっても、近隣に施設がなくマッチングをさせることが難しかった。

⇒施設意向調査を実施。新規3件農福連携を実施してみたいことがわかった。

### 【質問内容】

- ・ 農福連携の参入について
- ・ どのような作業が可能か
- ・ 利用者の送迎等を含めどの地区まで対応が可能か。
- ・ 工賃の決め方について 等

(2) マッチングをして、すぐに農家側が工賃を払うハードルが高かった。

⇒試行的な作業（現地研修）を実施。

【参加者】 農業者（園主）、福祉施設職員、利用者、関係機関職員

【内 容】 作業の説明、どのようなことができるのか検討（作業の体験）

(3) 作業の幅が狭まる

⇒施設で作業を持ち帰って行う。

# 3 計画・実績



令和4年度当初計画



令和4年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
スタディツアー・人材育成研修						先進地視察① (現地研修) 伊奈農園	(現地研修) 宮村農園		先進地視察①			
マッチングの場づくり				全体研修 宮村農園		伊奈農園					先進地視察 マッチングの場づくり 3月28日開催	
その他				施設意向調査実施								全体研修 (事例発表)
		6,7月 関係機関会議								1月 関係機関会議		

# 体制・役割

神奈川県 事業の統括・負担金の支出

秦野市  
農業振興課

秦野市  
社会福祉協議会

関係機関の連絡調整  
事業の企画

農業関係者へ事業の  
周知・連絡調整

J A はだの

秦野市障害者地域  
生活支援推進機構

秦野市  
障害福祉課

福祉施設等へ事業の  
周知・連絡調整

# 3 (2) 実績

## 現地研修 第1回

会 場：伊奈農園

内 容：作業の説明、どのようなことができるのか検討（作業の体験）

参加者：計12名

（ 農業者1名、福祉施設職員2名、利用者3名、  
都市農業支援センター2名、JA1名、市1名、社協2名 ）



### <施設職員>

選別する基準（見本）を示してくださったので、スムーズに作業を行うことができました。

### <農業者感想>

落花生の選別等の作業は、手作業でしかできないので、実際に体験してもらうことで、福祉施設の方にお問い合わせできることがわかってよかった。何日か同様の作業が続くので、慣れたらもっと早くできるのではないかな。

# 3 (2) 実績

## 現地研修 第2回

会 場：宮村農園

内 容：作業の説明、どのようなことができるのか検討（作業の体験）

参加者：計9名

農業者（園主）1名、福祉施設職員1名、利用者3名、  
都市農業支援センター2名、市1名、社協1名



### <利用者>

- ・ほうれん草を洗う、梱包する作業を実際に体験し、できると思った。

### <農業者>

- ・雨だったので、軒下での作業を中心に説明、体験してもらった。梱包、袋詰め作業は問題なくできていた。
- ・比較的若い方がきてくれたので、みかんのもぎ取りなど立ち仕事もお願いできると思った。

# 3 (2) 実績

\* 3農園、4施設のマッチングを行った

- ①三武農園・・・秦野ワークセンター（就労B／身体）、くず葉学園（就労B／知的、精神）
- ②宮村農園・・・就労移行支援事業所りんく（就労移行／精神）
- ③伊奈農園・・・みりおんりーふ秦野（就労B／知的、精神）



秦野ワークセンター



くず葉学園



就労移行支援事業所りんく



みりおんりーふ秦野

### 3 (2) 実績 マッチング状況・作業状況

三武農園×秦野ワークセンター（就労継続支援B型事業所／身体障害）

★令和3年度に農業施設の視察を行った農家



9月いちご苗切り離し

作業実績	作業内容	実施日	時間（合計）	延べ人数 （利用者）
8月	落花生収穫	8日	16時間	23名
9月	イチゴ苗切り離し 里芋皮むき 落花生選別	16日	32時間	46名
10月	里芋皮むき イチゴ苗植え付け 落花生選別	8日	16時間	22名
11月	玉ねぎ苗数え	7日	12時間	20名
合計		39日	76時間	111名

※8月から工賃発生

### 3 (2) 実績 マッチング状況・作業状況

三武農園 × くず葉学園 (就労継続支援B型事業所 / 知的・精神)

★令和3年度に農業施設の視察を行った農家



ハウスの草取り

作業実績	作業内容	実施日	時間 (合計)	延べ人数 (利用者)
6月	草刈り イチゴ苗処理 ハウス清掃	6日	8時間	13名
7月	イチゴ苗処理	3日	4時間	5名
9月	ハウス清掃 草刈り	5日	7時間	10名
10月	イチゴ苗処理	1日	1,5時間	3名
R5 2月	ハウス内清掃	4日	6時間	12名
合計		19日	26.5時間	43名

※6月から工賃発生

### 3 (2) 実績 マッチング状況・作業状況

宮村農園×りんく（就労移行支援事業所／精神） ★令和3年度に農業施設の視察を行った農家

★7月に実施した施設意向調査で農福連携を行いたいと回答があり、今回のマッチングにつながりました。



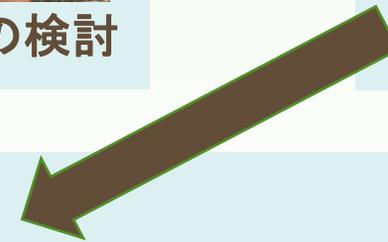
8月 事業所職員のみ農家を見学



9月 利用者も含め作業の検討



11月  
試行的な作業実施



園主

12月（工賃発生）

作業実績：12日間 48時間 作業人数：延べ49名

作業内容：みかんのもぎ取り・仕分け作業、ほうれん草の収穫

### 3 (2) 実績 マッチング状況・作業状況

伊奈農園×みりおんりーふ秦野（就労継続支援B型事業所／精神・知的）

★農福連携をすでに行ってる三武さんからの紹介ではだの都市農業支援センターへ依頼があった。

※新しい内容の作業を行う時は、事前に事業所職員が作業内容の確認を行う。（賃金発生なし）

9月実施可能な作業の検討

園主・施設職員・利用者  
関係機関職員

- ・ 10月6日～20日に  
試行的な作業実施。
- ・ 秦野の名産品の  
落花生の選別等を実施。



作業実績

3月15日時点

	作業内容	実施日	時間（合計）	延べ人数 （利用者）
1 2 月	ほうれん草の葉取り	5 日	1 8 時間	1 1 名
R5 3 月	ほうれん草の葉取り 落花生殻剥き ほうれん草収穫	3 日	2 0 時間	1 6 名
合計		8 日	3 8 時間	2 7 名

## 3 (2) 実績 施設意向調査

【対象】 市内障害施設 約20箇所

【実施時期】 令和4年7月上旬

【実施理由】

農家から希望があっても、近隣に施設がなくマッチングをさせることが難しかった。  
そこで、市内で移動可能な施設があったらマッチングの幅が広がると思い、調査を実施した。

【質問内容】

- ・ 農福連携の参入について
- ・ どのような作業が可能か
- ・ 利用者の送迎等を含めどの地区まで対応が可能か。
- ・ 工賃の決め方について 等

⇒調査結果

新規3施設から農福連携を行ってみたいと回答あり。

利用者の高齢化や障害特性にあっていない等の理由から取り組みが難しいと答えた施設が多くあった。

### 3 (2) 実績 関係機関打ち合わせ

日時：令和5年1月12日（木） 13時30分～15時

場所：秦野市保健福祉センター

出席者：県、市、秦野都市農業支援センター、ぱれっと・はだの、市社協

内容：①現在のマッチング状況、作業状況等について情報共有を行いました。

②令和4年度の事業実施について

- ・スタディツアー
  - ・マッチングの場づくり
- } 内容検討

③令和5年度以降の取り組みについて

# 3 (2) 実績

社会福祉法人常成福祉会  
(秦野ワークセンター) 機関誌『ぶなの森』  
令和4年10月号



市社会福祉協議会広報誌  
令和5年2月15日 約40,000部発行  
(新聞折り込み、公民館・駅連絡所等での配架)



宮村農園 (秦野市北矢名)  
就労移行支援事業所りんく  
平塚地域のスタディツアーに協力  
令和5年3月7日



# 3 (2) 実績 先進地視察 マッチングの場づくり

日程：令和5年3月28日（火）

＜当日の流れ＞

時間	内容
8:50	保健福祉センター集合
9:00	出発
9:30	宮村農園（秦野市北矢名）到着・視察
10:10	宮村農園出発
10:40	三武農園到着・視察
11:20	三武農園（秦野市堀西）出発
11:40	保健福祉センター到着
	昼食
13:00	マッチングの場づくり
14:30	終了

＜参加者募集チラシ＞

秦野市内の取り組みを見学しませんか？

**農福連携スタディツアー参加者募集！**

日程 **令和5年3月28日（火）**

対象 農福連携に関心ある農業従事者、福祉施設職員等 **定員 10名**

**第1部 先進地視察** ※保健福祉センターからマイクバスで移動します。

8時50分 保健福祉センター集合  
 9時30分 宮村農園（北矢名）  
 10時40分 三武農園（堀西）  
 11時40分 保健福祉センター到着

**第2部 13時00分～14時30分 マッチングの場づくり** ※昼食は、お弁当を御用意させていただきます。

市内で農福連携に取り組んでいる3農家、4事業所の事例紹介。その後、意見交換を行います。

※農福連携とは、農業と福祉が連携をし、障害者が農業分野で働くことを通じて、地域社会の中で自活や生きがいをもって、社会参加の実現を目指していく取り組みです。また、農業分野での農業従事者の高齢化や担い手不足の改善も期待されています。

お申込み・お問い合わせ

申込み〆切：3月23日（木）

※どちらの1部の参加でもかまいませんので、お気軽にお申込みください。

はだの都市農業支援センター ☎ 81-7800  
 秦野市社会福祉協議会 ☎ 84-7711

社会福祉協議会 マッチング等支援事業 スタディツアー、マッチング場づくり

## 3 (2) 実績 先進地視察

視察先：宮村農園  
作業している施設  
就労移行支援事業所りんく



### <参加者> 計16名

- ・ 農業者 3名
- ・ 福祉施設職員 2名
- ・ 秦野養護学校職員 1名
- ・ 県共生推進本部室 2名
- ・ 農福連携技術指導員 1名
- ・ 市障害福祉課 1名
- ・ 農業振興課 1名
- ・ 秦野市障害者地域生活支援推進機構 2名
- ・ 市社協 3名

### <園主>

- ・ 施設へみかんもぎ ・ みかんの選別 ・ ほうれん草の収穫を12月から約1か月間お願いをした。
- ・ 試行的な作業を行ってから契約を行った。
- ・ パートや親戚でみかんもぎを行っていたが、若い方に来ていただけると力仕事（みかんがはいったカゴを運ぶ等）をお願いできて助かっている。
- ・ 作業をりんくにお問い合わせをして、自分（園主）は別の作業を行うことができるので助かっている。

### <就労移行支援事業所りんく>

- ・ 精神障害をお持ちの方が主に通所されている。
- ・ 日光を浴びながら作業できて利用者にプラスの効果がある。
- ・ 法人の就労継続B型でパン屋を行っているため、宮村農園のみかんやほうれん草を使ってコラボ商品ができないか法人内で検討している。

### <参加者からの質問>

- ・ お手洗いはあるのか。
- ・ 作業へは何で移動しているのか。
- ・ 年間を通して、パートさんは何人働いているのか。
- ・ りんくは、女性の方もいるのか。 等

## 3 (2) 実績 先進地視察

視察先：三武農園  
作業している施設：くず葉学園



いちごハウス清掃の様子を見学

### <園主>

- ・ 2つの福祉施設（くず葉学園、秦野ワークセンター）にお願いしており、作業内容によって、お願いする内容が異なる。
- ・ くず葉学園には、単純作業（落花生の収穫作業等）やいちごハウスの清掃を主にお願している。
- ・ 農福連携を行うにあたって、  
農業者・福祉施設両者にメリットが生まれるように心がけている。

### <<くず葉学園>

- ・ 菩提に施設があり、車で約15分ほど。
- ・ 主に知的障害をお持ちのが通所されている。
- ・ 施設内で清掃班があるため、マッチして良かった。
- ・ 利用者の障害特性を見極めながら、作業をさせていただいている。
- ・ 施設外で作業することで、利用者としてもお仕事をを行った充足感がある。また、地域交流等もでき、嬉しく思う。

## 3 (2) 実績

### マッチングの場づくり



#### ①日時

令和5年3月28日（火）13時～14時30分

#### ②参加者（事例発表者含む）

福祉施設職員5名、秦野養護学校職員1名  
農業者5名 県共生推進本部室2名、農福連携技術指導員1名  
関係機関職員（市障害福祉課1名、市農業振興課1名、  
秦野市障害者地域生活支援推進機構3名、市社協3名）

#### ③内容

- ・ 農福連携とは（市社協）
- ・ 秦野市内での取り組みについて（市社協）
- ・ 事例発表
  - 三武農園、くず葉学園
  - 宮村農園、就労移行支援事業所りんく
  - みりおんりーふ秦野
- ・ 意見交換

#### ④成果

- ・ 意見交換を通し、来年度マッチングが見込める農業者、福祉施設が2組あることがわかった。

## 3 (2) 振り返り

### 実現できたこと

- ・ 試行的に作業を実施したことで施設・農家が契約に結びついたこと。
- ・ 関係機関がそれぞれのニーズを把握し、連携したことでマッチングにつなげることができたこと。

### 実現できなかったこと

- ・ 年間を通して、安定的に実施出来るような仕組みづくり

## 4 同様の課題を抱える市町村へのアドバイス

- ・ 農業サイド、福祉サイドそれぞれの連携が不可欠。